

令和6年度 函館市食育計画策定推進委員会

会議概要

- **開催日時** 令和6年9月30日（月）16時00分～17時15分
- **開催場所** 函館市総合保健センター 2階 健康教育室
- **会議内容**
議題
 - (1) 第3次函館市食育推進計画の指標の現状値について
 - (2) 第3次函館市食育推進計画の取り組みについて
 - ア 令和6年度の取り組み状況
 - イ 令和7年度の実施予定
 - (3) その他
- **資料**
 - ・ 会議次第
 - ・ 資料1：第3次函館市食育推進計画の指標の現状値および指標に係る取り組みについて
 - ・ 資料2：令和5年度 度函館市食育計画策定推進委員会 食育関連事業取り組み事例
 - ・ 資料3：令和5年度 食育推進庁内関係課 食育推進事業実施状況
 - ・ 資料4：令和6年度 食育推進事業の取り組み
 - ・ 資料5：令和7年度 食育推進事業
- **出席委員（14人）**（委員長，副委員長以外は五十音順）
池田延己委員長，木幡恵子副委員長，
東清美委員，梅田由美委員，大室文子委員，木下あやこ委員，
小林博子委員，坂本政博委員，澤口則子委員，高橋章宏委員，
中村享子委員，三谷龍司委員，向大喬委員，山崎雄二委員
- **報道機関**
株式会社函館新聞社
- **事務局**
(保健福祉部健康増進課)

前田由季課長，澤中真奈美主査，有賀友香主任技師，北村めぐみ主任技師，
高橋朱音技師

■ 会議要旨

1. 開 会

(事務局) 澤中主査

本日は，お忙しい中，また，お仕事でお疲れのところご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただ今から，令和5年度函館市食育計画策定推進委員会を開催いたします。本日，司会を担当します健康増進課の澤中です。本日の委員会でございますが，委員総数15名中14人の委員にご出席いただいております。「函館市食育計画策定推進委員会設置要綱」第6条第3項の規定により，委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

さて，当委員会につきましては，「公開」により行いたいと思いますので，ご了承願います。また，委員会の内容につきましては，後日，事務局で会議録を作成し，市のホームページ上で公開してまいりたいと考えており，会議録作成のため，録音させていただいておりますことをご了承いただきますようお願いいたします。

本日の資料を机上配付させていただきました。次第の配付資料のとおりとなっておりますが，お手元に揃っておりますでしょうか。

2. 保健福祉部健康増進課長挨拶

(事務局) 澤中主査

次に，前田健康増進課長からご挨拶を申し上げます。

(事務局) 前田課長

－挨拶－

3. 議 題

(事務局) 澤中主査

それでは，これより池田委員長から議事を進めていただきたいと思います。池田委員長よろしく願いいたします。

池田委員長

皆様、お疲れ様です。それでは、早速ですが、次第にそって議事をとらせていただきます。

議題の（１）について、事務局より説明願います。

（事務局）北村主任技師

－資料１の説明－

池田委員長

ただいま事務局に説明していただいた内容に関して、委員の皆さんからご意見・ご質問はありますか。

資料１の⑦適正体重者の割合について、小学５年生・中学２年生は計画策定時の割合から悪化しています。目標値は計画策定時の全国値を参考に設定されているものです。

目標値から離れている状況がありますが、普段の学校生活の中で感じることはありますか。

大室委員

本校の状況にはなりますが、肥満ややせのお子さんはあまり見受けられません。比較的本校では、朝食の欠食や遅刻は少なく、早寝・早起き・朝ごはんの習慣がきちんとできている家庭が多いように感じます。

住んでいる地域によっては、児童館や学校のグラウンドが遠い場合があり、放課後の運動の仕方には関係があるかもしれません。

池田委員長

大室委員の言うとおりで、極端に増加しているわけではないと思っています。肥満とやせが少しずつ両方増えているのでは、と考えられます。

中学校ではどうでしょうか。

三谷委員

本校は極端な肥満の子より、やせている児童が多い印象はあります。ちょうど体ができる時期でもありますので、家庭科の授業や、給食のブロックで親学校が巴中学校のため、そちらの栄養教諭から給食だよりなどの啓発資材が来ますので、活用しています。

中学校になると、各家庭の生活習慣が様々で、夕ごはんが午後８～９時と遅くなり、朝ごはんを食べない子もいるようです。家庭の状況によって、伝え方が難しいですが、体が伸びる大切な時期と認識しています。食べるものが偏っている、好きなものを好きなように食べているという雰囲気

気も感じますので、今後も子どもたちの健康を注意しながら見守っていただければと思います。

梅田委員

給食の食べ方を見ていると、野菜がなかなか受け入れられません。揚げ物の残食は少ないです。

児童に朝ごはんを聞くと、ファストフードや既製品を挙げることもあり、食べていたとしても内容が伴っておらず、バランスや基本的な食習慣が崩れているように感じます。

池田委員長

親が外食することが多いと、子どもの体重が多いという傾向を感じます。

向委員

P T Aの立場で、色々な家庭を見てきました。食事の話が出ていますが、家庭で難しくなっている理由で考えられるのは、両親ともフルタイムで働いている・男女問わず三交代制の仕事をこなす、というような働き方をしていると、食事の用意は大変だと思います。本当は子どもとの時間を作りたいと思っているけれども、生活のために働かなければならない状況の方が多いです。この状況を良くするには、言葉だけでなく、できる状況になるよう行政にもがんばってもらわないと、変えるのは難しいと思います。今まで見てきたお母さんたちは大変そうでした。

揚げ物に偏るお話が出ていましたが、食事を作る時間がなくてお惣菜を買う場合、揚げ物は種類が多く、値段が安いです。生活を考えると、そうになってしまう面があります。根本を変えていかないと難しいかと思います。

池田委員長

なんとか目標値を達成できるように、行政ももっと取り組んでいく必要があると思います。

事務局から、委員の意見を受けて発言はありますか。

(事務局) 前田課長

貴重なご意見をありがとうございます。

生活の中で、時間が無い時に野菜料理を準備できず、簡単にできるものに走ってしまう状況は理解できます。一方で、生活習慣病を悪化させると、市の死因一位になっているがんや、糖尿病、腎不全につながってしま

います。日々忙しい・経済状況が厳しいなど様々な状況が考えられますが、どのような食生活が一番望ましいか、知っておくことは大切です。できていない状況を責めるのではなく、事実として伝え啓発することが重要です。10月には函館アリーナで健康づくりがテーマの楽しめるイベントを開催しますが、その中で、レシピコンテストで入賞した簡単に作れる野菜料理のレシピを紹介します。少しでも望ましい食生活に近付けるよう、野菜を食べる大切さなどを伝えていければと考えております。

池田委員長

それでは、次に、議題の（２）について、事務局より説明願います。

（事務局）有賀主任技師

-資料2，3，4説明-

（事務局）澤中主査

-資料5説明-

池田委員長

事務局より説明がありましたが、各委員からご意見伺いたいと思います。

令和7年度 食育推進事業の取り組み説明の中で、食育のキーワードに「啓発の強化」がありますが、函館市亀田農業協同組合の山崎委員、昨年10月27日のグリーン大収穫祭では、レシピの普及にご協力いただいたということですよ。

山崎委員

グリーン収穫祭では、地元の野菜の普及ということで、じゃが芋・大根・人参・白菜を中心に大特価で販売しました。昨年は1,000人くらいの来場者があり、大盛況でした。その中で、牛乳の消費拡大を目的に無料試飲を行い、合わせてパンフレットを配布しました。400セット用意しましたが、20分程で無くなりましたので、今年は800セットに増やす予定です。この機会に色々な情報提供ができればと考えておりますので、ご要望がありましたらお声がけください。

池田委員長

ありがとうございます。

他の団体で啓発できるような機会はありますか？

木幡副委員長

栄養士会単独ではなく、コラボしながら行う事業の計画はあります。栄養相談などできることがありますので、お声がけいただければと思います。医師会とは連携しているのですが、この委員会の中でもできることがあればやりたいです。

池田委員長

資料4にある、垣の島遺跡で行った事業はどのような内容ですか。

(事務局) 澤中主査

垣の島遺跡でウォーキングと、レクリエーションとしてモルックを行った後、講話とお弁当配布をするという内容でしたが、悪天候のため、現地での開催は中止となり、総合保健センターでお弁当とリーフレットを配布しました。お弁当は「はこだて健幸応援店」で主食・主菜・副菜のバランスに配慮して作っていただいたものです。リーフレットも食事のバランスに関する内容のもので、管理栄養士から簡単に説明しながらお渡ししました。

池田委員長

来年度も実施しますか？

(事務局) 前田課長

好評でしたので検討しておりますが、予算配当の結果によります。

池田委員長

委員の皆さんから何か質問はありますか？

大室委員

私自身、ハコビットをダウンロードして使っています。配信される情報や活動は良い内容なので、色んな方に知っていただきたいと思うのですが、事業を実施する際に場所の選定はどのようにしているのでしょうか。洋服店の知人などが、石川町の大型書店の集客が他とは全然違うと話していました。若い世代が多い場所でもあるので、そのような面も踏まえて場所を選ぶのもいいのではないかと思います。

もう一点、資料5にある「主食・主菜・副菜の揃った食事」という言葉ですが、先ほどの向委員からの意見にもつながるのですが、忙しく働いている方にとっては、ちょっと負荷が強いように感じてしまいます。例え

ば、「バランスの良いワンプレートディッシュ」ですとか、とつつきやすいネーミングの工夫があると、より訴えやすいと思います。

（事務局）澤中主査

主食・主菜・副菜が揃っていれば、ワンプレートや丼ものでも良いというのは啓発しているのですが、なかなか皆さんに届いていないのだなと今感じました。ご意見いただいたとおり、ネーミングの工夫など考えていきたいと思っています。

池田委員長

事務局から資料の説明があったとおり、色んな取り組みは行っているものの、目標値にはなかなか反映されていないという状況です。子どものうちから良い習慣を身につけるため、若い世代に啓発していくのは、将来的に生活習慣病になることや悪化を防ぐために大切ですので、皆さんと一緒により連携していきたいです。

漁協ではなにか収穫祭的なものはやっているのでしょうか？

高橋委員

そのような事業はないのですが、近年ブリがたくさん獲れていますので、振興局とブリに関する事業で連携しています。函館市内の高校生にブリの料理を提供し、水揚げ状況の見学してもらう内容で、5年くらい続いています。

池田委員長

ありがとうございます。

それでは、次に議題の（３）その他について、事務局からお願いします。

（事務局）澤中主査

次年度、食育推進計画の中間評価を行います。令和８年度に評価報告を兼ねまして、予算の関係で決まってはおりませんが、皆さんとご一緒に事業を行いたいと考えております。たとえば、第２次函館市食育推進計画策定した翌年の平成２８年６月に函館蔦屋書店で食育イベントを開催いたしました。そのようなイメージで団体ごとに食育をテーマにして啓発していただくとしたら、どのような内容だとか協力いただけますでしょうか。

池田委員長

平成２８年には、栄養士会も参加しましたよね。

木幡委員

ブースを一つ担当して、お子さんと親御さんに食の大切さを伝えるため、紙芝居やスライドを使ったり、カードを渡しました。楽しく参加させていただきました。

栄養士会の取り組みなのですが、学童保育に行って事業を行いました。児童約30名、関係者含め約50名分の食事を作りました。子ども自身が食の知識や力を身に付けるのがいいのではと思ひまして、切る・煮るなどの調理を一緒に行いました。お話に出ているイベント会場で、どの程度調理ができるかはわからないのですが、包丁やまな板を使わずできることもあります。例えばパンを買ってきた時、中に缶詰や生の野菜など、こういうものを挟むとバランスが良くなるとか、簡単な方法を教えることも食育として良いと思います。前もって一緒に予定を立てながら、行っていきます。

学童では4～6年生の包丁使ってもいい学年を対象に行いました。学校には栄養教諭の皆さんがいらっしゃいますので、学校に入り込むのではなく、放課後の活動で関わるのがいいのではと考えています。

池田委員長

歯みがきのコーナーもありましたか？

東委員

平成28年のイベントでは、食べることに對して歯の健康がどれだけ大切かというお話や、歯に合わせた歯みがきの仕方を指導し、お土産もあり好評でした。他のブースを回って来た親御さんは、「色々な方々の話を聞けて良かった」とお話しされていました。先ほど会場設定の話が出ていましたが、やはり駐車場があるというのは大きく、函館ではイベント開催時に駐車場の有無というのはよく問題になるので、そういったところも加味しながら考えていただければと思います。

団体同士の連携では、栄養士会と少しずつコラボに向けて進めていますので、この委員会の場で還元できればと考えていますし、今後も引き続き協力し合っていきたいです。

池田委員長

子育て支援ネットワークの小林委員はどうですか？

小林委員

団体の活動では今年、子どもたちを対象に「ちびっこヨガ」を計画し、身体を動かすことの大切さを伝えてきました。ひと通り計画が終わってき

ていますので、次の内容を検討しています。この委員会に参画していますので、食育に関して考えていくことを団体の会議で話題にしました。遅まきながら、協力していきたいと考えております。

勤務している函館短期大学には木幡先生もおりますし、相談して協力し合えればと思います。

池田委員長

他の皆さんも、何かある場合は健康増進課に相談してください。よろしくをお願いします。

議題は以上ですが、事務局から何かありますか。

(事務局) 澤中主査

10月19日・20日に開催されます「はこだて市民健幸大学 ウェルネススタジアム」で実施いたします食育普及啓発ブースにおきまして、皆様にご協力をお願いさせていただきました。当日は2日間に渡り6人の方にご参加いただけること感謝申し上げます。その他、北海道栄養士会函館支部の管理栄養士6人、函館市食生活改善協議会より20人ご協力をいただく予定でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

木幡委員

10月20日にイベント内で「食習慣から大腸がんを予防する」というテーマで講師を担当します。

また、10月26日に開催する栄養士会主催の講演会のご案内を合わせて配布しておりますので、ぜひご参加ください。

4. 閉会

池田委員長

それでは、以上をもちまして、令和6年度函館市食育計画策定推進委員会を終了いたします。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。